

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコンgresワークショップ 16	
企画名	誰も教えてくれなかった御看取り
日時	2016年6月10日（金） 17:10～18:40
会場	第10会場（台東区民会館 8階 第3会議室）
企画責任者	田中雅之（東京医療センター総合内科）
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>卒前・卒後教育の中で、死亡確認前後の振る舞いを学ぶ機会を医療者はほとんど持たないことから、看取りに関するワークショップを企画した。</p> <p>【概要】</p> <p>患者・家族にとって望ましい看取りを実現するためには、死亡確認よりも前段階である終末期からの患者・家族との関わりが重要であると考えた。終末期によく遭遇する「患者の最期に間に合うには？」「死前喘鳴って苦しくないの？」といった家族とのコミュニケーションの中で医療者が答えづらい Topic やジレンマを題材に終末期の医療者の振る舞いに関して検討し、様々な立場（急性期・緩和ケア・在宅など）・職種（医師・看護師など）の医療者間で今まで実践して来た看取りをロールプレイで共有し、各々の共通点・相違点をまとめたい。</p> <p>それらを踏まえた上で、終末期から看取りまでの一連の過程で明日から使える看取り Pearl をワークショップ全体から生み出していく。</p>	